

別記1

## 業 務 概 要 書

1 業務概要

- (1) 業務名 船引・小野高等学校統合再編工事基本・実施設計委託
- (2) 業務箇所 田村市船引町船引字石崎 地内
- (3) 業務箇所に関する管内 県中建設事務所管内

【位置図】



(4) 業務内容

- ① 種 別 建築設計
- ② 業務内容 船引・小野高等学校統合再編事業に係る建築設計  
〈計画規模〉
  - ・実習棟新築 A=3,650 m<sup>2</sup>程度
- ③ 工期 (予定) 令和6年10月～令和7年11月

## 2 業務の背景・目的・課題等

### (1) 業務の背景

船引高等学校及び小野高等学校は、県立高等学校改革基本計画で示した「望ましい学校規模を4～6学級とし、3学級以下の学校は、魅力化を図りながら統合を推進する」及び「隣接する市町にある複数の学校のいずれかが1学年4～6学級の学校規模を維持できない場合」に該当することから、両校を統合し、一定の学校規模を確保して、教育内容の充実を図ることとした。

統合校については、両校の学びと伝統を継承し、県中地区唯一の総合学科の高等学校として、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）を設け、地域に根差したキャリア指導推進校とする。さらに、地域と連携したキャリア教育の充実により、地域を支える核となる人材の育成を図るために、1学年4学級規模の総合学科として統合再編等整備を進める。

### (2) 業務の目的

統合校は船引高等学校敷地内に整備し、統合校で新たに設置されるプロフェッショナル系列の4分野でのそれぞれの学びの特色を生かして地域の農産物で商品開発し販売することで新たな特産品をつくり地域発展に貢献し、また、図書館を地域に開かれた多様な学びの場の拠点として定期的に地域と交流活動を行ったり統合校で製造した加工食品等を展示・販売できる実習棟を新設する。

### (3) 業務の課題

- 既存校舎との一体的利活用を視野に入れた上で実習棟と駐車場が機能的に配置された周辺環境に調和する施設整備
- 既存校舎との動線を十分に配慮した諸室が配置された施設整備
- 図書館と交流スペースを中心とした多様な学びの場と地域との交流活動を実現することができる施設整備
- 建築物の木造化に十分配慮した施設整備

## 3 評価テーマ

- (1) 周辺環境に調和し、既存校舎との一体的な利活用を踏まえた、実習棟と駐車場の機能的な配置に関する具体的な提案
- (2) 既存校舎とのつながりに配慮した諸室の配置に関する具体的な提案
- (3) 図書館を地域に開かれた多様な学びの場に、交流スペースを地域との交流活動の場にするための具体的な提案
- (4) 実習棟を木造化するための具体的な提案
- (5) その他の有効な着眼点とその有効な提案、対策